

平成13年度 日本表面科学会

特別講演会

21世紀はバイオの時代になるであろうと予想され、バイオテクノロジーが新しい産業を創生するであろうと期待されています。都甲 潔先生(非会員、九州大学大学院システム情報科学研究院)はバイオセンサーの一種である味覚センサーを世界に先駆けて開発され、この分野では世界の第一人者です。味覚センサーに関する学術論文・著書は多数有り、また、テレビ・新聞等マスコミにおいても取り上げられ、各方面から注目されています。先生の開発された味覚センサーは、複数の脂質膜をその受容部に用い、化学物質との相互作用を電圧に変換する仕組みになっています。出力電圧は化学物質の呈する味に関する情報を持っており、その結果、これら出力電圧のパターンから味を識別できます。ご講演では、その原理と適用例についてお話頂きます。(文責 庭野道夫)

この特別講演会は本会の会員でない方も自由に聴講できます。皆様の周囲の興味をお持ちの方々をお誘いの上、多数のご来場をお待ち致しております。

演 題 脂質膜を用いた味覚センサー
講 師 都甲 潔 教授(九州大学大学院システム情報科学研究院)

開催日時 平成14年5月10日(金) 16:00~17:30
場 所 東京理科大学 1号館17階 記念講堂
〒162-8601 新宿区神楽坂1-3 Tel 03-3260-4271
(JR「飯田橋」駅下車, 地下鉄東西線・有楽町線・大江戸線・南北線「飯田橋」駅下車)
参 加 費 無料

講演会終了後、特別講演会講演者を交えて懇親会を開催致します。併せてご参加下さい。

懇 親 会 東京理科大学1号館17階 大会議室
17:30~19:30
会費 3,000円
(当日受け付けにてお支払い下さい)

日本表面科学会 特別講演係
TEL:03-3812-0266 FAX:03-3812-2897
E-mail:shomu@sss.j.org

